

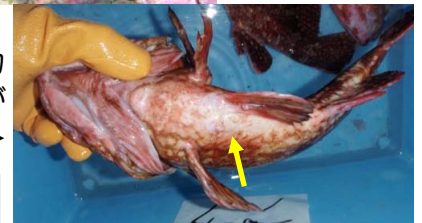
## カサゴの放流効果調査－7年にわたって再捕が続く

カサゴ資源を復活させるため、平成15～19年度に種苗放流技術を開発し、放流適地にカサゴ種苗（標識として片方の腹鰭を抜去）1万尾強を平成19年に放流しました。放流魚は放流後2年目から漁獲され始め、その後7年目となる平成26年まで毎年漁獲されています。カサゴ種苗は放流後にゆっくりとした成長を示し、長期間にわたって漁獲が続くことが分かってきました。今後も市場調査を継続し、放流効果を明らかにします。



←カサゴ

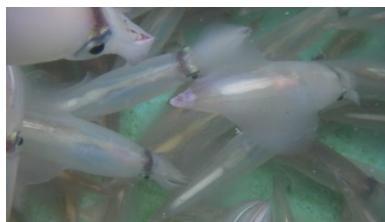
漁獲された放流カサゴ、右の腹鰭がない →



【解説】カサゴは、北海道南部から東シナ海の沿岸の岩礁域に生息する代表的な磯の魚で、重要な漁獲対象種であるとともに、遊漁の対象としても人気がある。

### 「仁科のヤリイカ」活魚輸送試験

伊豆漁協が12月12日に伊豆漁協仁科支所から静岡市のレストランビジネスを展開する“なすびグループ”総本店に向けて、20ℓタンクでの活ヤリイカの輸送試験を行いました。今後の出荷方法は漁協となすびグループで検討しています。

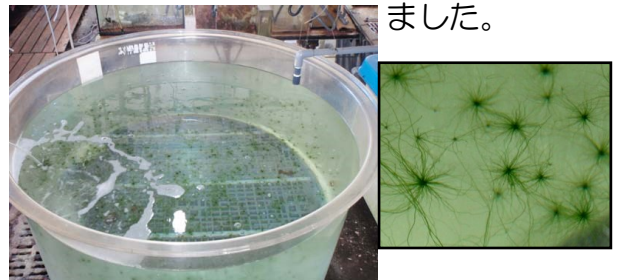


【解説】ヤリイカ

身が柔らかく、甘みがあるイカで、駿河湾では11月から1月上旬が盛漁期で、漁場は伊豆西岸と石花海周辺である。釣られたイカは活魚車でお荷される。「仁科のヤリイカ」としてしずおか食セレクションに認定されている。

### メタン発酵プロジェクト 海藻養殖への液肥利用技術の開発

メタン発酵を用いて食品廃棄物処理を進める研究の一環として、副産物の消化液を液肥として伊豆特産のスジアオノリの陸上養殖に利用する研究を行っています。海水に消化液を添加することで海水のみで培養するより生育が良くなることが分かってきました。



↑スジアオノリの養殖試験

- 1月の予定
- ・平成26年度漁業士認定式が1月21日に行われます。
  - ・マダイ放流事業の推進を協議する伊豆地域栽培漁業推進協議会が1月22日に行われます。

**会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。**

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話 0558-22-0835  
アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu